



悲しくて、
最高に幸せな
7日間のラブストーリー

「私ね、あと1週間で死んじゃうの」

恋人の突然の告白からはじまった“ふたりの7日間”は、悲しいけれど、幸福と愛に満ちあふれた、かけがえない奇跡だった。残り少ない日々を命の限り輝かせようとする少女と、そんな彼女の夢を全力で支えようと奔走する少年とが繰り広げる純度100%のラブストーリーがここに誕生した。

物語の主人公は、心臓の病気のため、医者から余命1週間と告げられた高校2年生の由菜と、突然の告白に戸惑いながらも、彼女との幸せな日々を一緒につくりあげることに協力する恋人・雪夫。逃れられない運命に対する絶望や動揺、怒り、悲しみなど、すべての感情を抱え込んだ上で、慎重に生きることよりも、残りの人生を笑顔で、幸せに過ごすことを選んだ2人。

映画『下妻物語』の作者・嶽本野ばらによる同名小説を人間ドラマの名手篠原哲雄監督が映画化。主人公の2人を映画『麻希のいる世界』『少女は卒業しない』、ドラマ「最高の教師1年後、私は生徒に■された」などで注目の若手俳優・窪塚愛流と、映画『志乃ちゃんは自分の名前が言えない』『朝が来る』やドラマ「おかえりモネ」の若き実力派・蒔田彩珠の2人が好演。雪夫を全力で応援する姉・月子に橋本愛、余命わずかな娘の幸せを願う由菜の両親に山崎まさよしと吉田羊ら実力派俳優が脇を固める。命が燃え尽きるその瞬間まで、愛する人のぬくもりを感じ続けていたい——。自分らしく生きるということがどれほど尊くて、ハッピーなことなのか。そんな奇跡のような7日間の物語に、きっと誰もが“ハビネス”に包まれる——。



Story

好きなお洋服を着て、好きなものを食べて、大好きな人と一緒にいたい

出会いは、高校の美術室。

好きな作家の画集を見て、好きな本の話をする…。そんな雪夫と由菜の平凡な日々は、「私ね、あと1週間で死んじゃうの」という由菜の突然の告白によって一変する。その言葉に雪夫の心は乱れ、気持ちが追いつかずにはいたが、由菜はすでに自分の運命を受け止め、残りの人生を精いっぱい生きると決めているようだった。そんな思いを受け止めた雪夫は、彼女との残り少ない日々に寄り添う決意をする。

由菜にはやりたいことがたくさんあった。

今まで人目を気にしてできなかったファッションに挑戦することや、日本一のカレーを食べに行くこと。そして何よりも残り少ない日々をふたりで一緒に過ごし、最期の瞬間までお互いのぬくもりを感じ合うこと。

そんな“奇跡的な日々”を過ごした2人は、間違いなく“ハビネス”だった——。



窪塚愛流 蒔田彩珠
橋本愛 山崎まさよし 吉田羊

2024.5.17 Fri

原作：嶽本野ばら「ハビネス」(小学館文庫刊)
監督：篠原哲雄 脚本：川崎いづみ
制作プロダクション：光和インターナショナル 配給：バンダイナムコフィルムワークス
©嶽本野ばら/小学館/「ハビネス」製作委員会

公式サイト: happiness-movie.jp
X: @movie_happiness Instagram: movie_happiness



ムビチケ
ムビチケ前売券(オンライン)
販売中!
※ムビチケカードは付きません。

7日後に
消えてしまうキミは、
世界で一番輝いていた――

ハピネス

Happiness

窪塚愛流 蒔田彩珠
橋本愛 山崎まさよし 吉田 羊

原作：嶽本野ばら「ハピネス」(小学館文庫刊)
監督：篠原哲雄 脚本：川崎いづみ
制作プロダクション：光畑インターナショナル 配給：バンダイナムコフィルムワークス

2024.5.17